

2023 年 6 月 30 日

2023 年夏のボーナスの使い道に関する調査について

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 九 州 経 済 研 究 所

[調査の概要]	
調 査 目 的	県民の 2023 年夏のボーナスに関する動向を調査し、卸・小売事業者や金融業などの事業活動に利用してもらうことを目的とする。
調 査 時 期 調 査 方 法	2023 年 6 月上旬 南日本新聞社の「みなみパス会員」による「みなみアンケート」（インターネット調査）にて、夏のボーナスの支給の予定がある方を対象に実施
回 答 数 回 答 者 属 性	有効回答数 359 人 【性別】 男性 42.6% 女性 57.4% 【年齢別】 10代 0.3% 20代 4.5% 30代 20.6% 40代 23.7% 50代 37.6% 60代 13.1% 70代以上 0.3% 【地域別】 鹿児島地区 46.0% 南薩地区 9.2% 北薩地区 10.6% 姶良・伊佐地区 18.4% 大隅地区 11.7% 熊毛・大島地区 4.2%

【調査結果のポイント】

- 今夏のボーナスが前年（2022 年夏）と比較して、「増えそう」と回答した割合は全体の 19.2% だった。一方、「変わらない」は 56.8%、「減りそう」は 23.9% だった。
- 今夏のボーナスの使い道は、「生活費の補てん」（69.6%）が最多で、次いで「貯蓄・資産形成」（42.3%）、「ローン返済」（31.8%）、「旅行・レジャー費」（24.5%）と続いた。足元の物価上昇や将来不安などにより、ボーナスを生活費や貯蓄に使う傾向は依然として強い。
- 年代別にみると、どの年代も上位 2 項目は「生活費の補てん」「貯蓄・資産形成」で共通しているが、3 位の項目は年代別に違いがみられた。

1. 2023 年夏のボーナスの増減予想について

2023 年夏のボーナスが前年（22 年夏）と比較してどうなるか尋ねたところ、前年より「増えそう」（「増えそう」と「やや増えそう」の合計）は全体の 19.2% だった（図表 1-1）。一方、「変わらない」は 56.8%、「減りそう」（「減りそう」と「やや減りそう」の合計）は 23.9% だった。年代別にみると、「増えそう」と回答した割合が 20 代と 30 代で全体平均以上となった一方、「減りそう」と回答した割合は 30 代、50 代、60 代で全体平均より高くなった。30 代では「増えそう」、「減りそう」と回答した割合がどちらも全体平均より高かった。

当研究所が昨年 11 月に実施した前回調査（22 年冬）では「増えそう」が全体の 16.2%、「変わらない」が 62.7%、「減りそう」は 21.1% だった（図表 1-2）。また前年調査（22 年夏）では「増えそう」が全体の 11.5%、「変わらない」が 51.3%、「減りそう」が 37.3% であった（図表 1-3）。ボーナス支給状況は、前年夏の調査から改善がみられたものの、前回冬の調査からはほぼ横ばいとなっている。

2. 2023 年夏のボーナスの使い道について

2023 年夏のボーナスの使い道について尋ねたところ、「生活費の補てん」（69.6%）が最多で、次いで「貯蓄・資産形成」（42.3%）、「ローン返済」（31.8%）、「旅行・レジャー費」（24.5%）と続いた（図表 2-1）。前回冬や前年夏と同様、「生活費の補てん」「貯蓄・資産形成」の順に多いという傾向は変わらず、足元の物価上昇や将来不安などにより、ボーナスを生活費や貯蓄に充てる傾向は依然として根強い。

男女別にみると、男性は「ローン返済」「生活費の補てん」と回答した割合が女性より高く、女性は「旅行・レジャー費」「耐久消費財の購入」「貯蓄・資産形成」と回答した割合が男性より高かった（図表 2-2）。

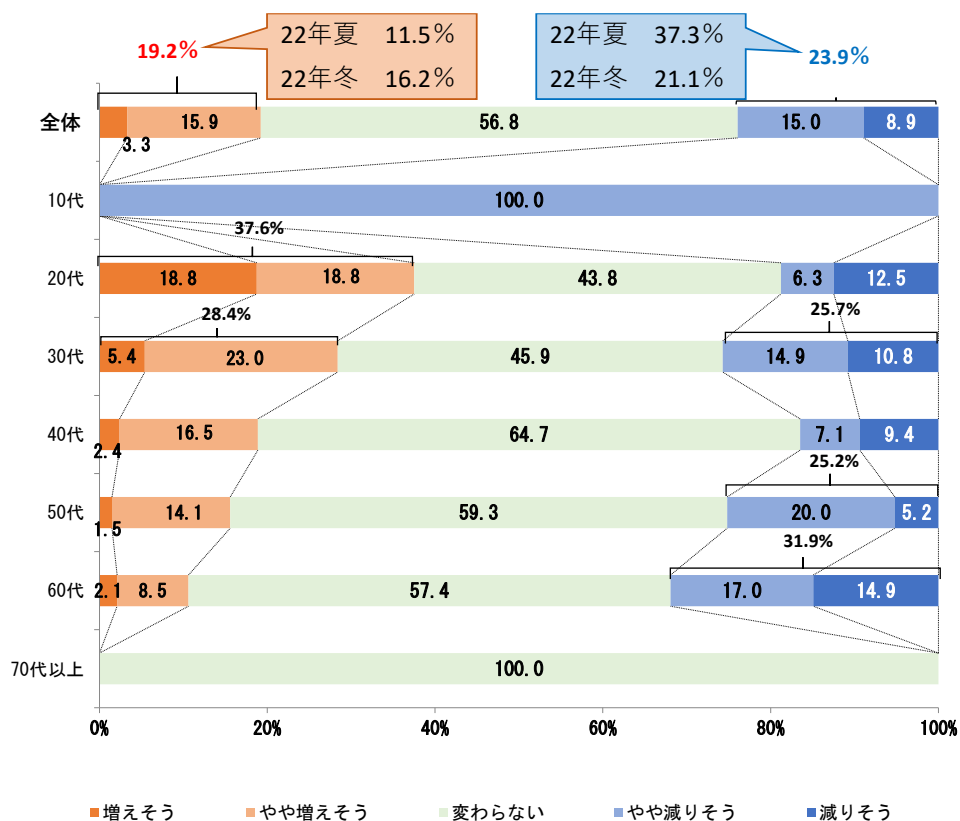
また、年代別にみると、どの年代も上位 2 項目は「生活費の補てん」「貯蓄・資産形成」で共通しているが、3 位の項目は年代別に違いがみられた（図表 2-3）。

以 上

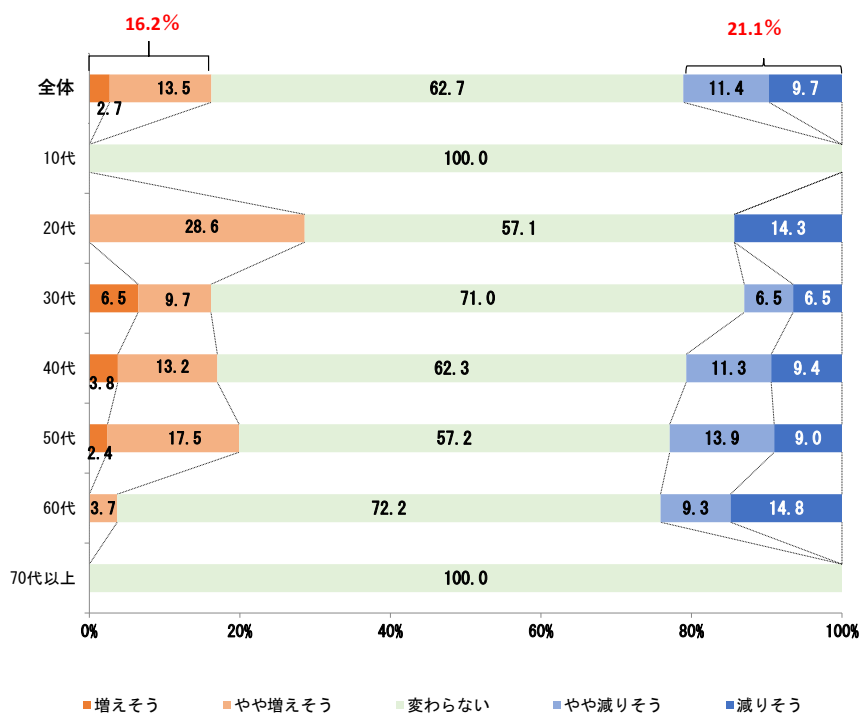
【本件に関するお問い合わせ】 ㈱九州経済研究所（TEL 099-225-7491）

【2023 年夏のボーナスについて】

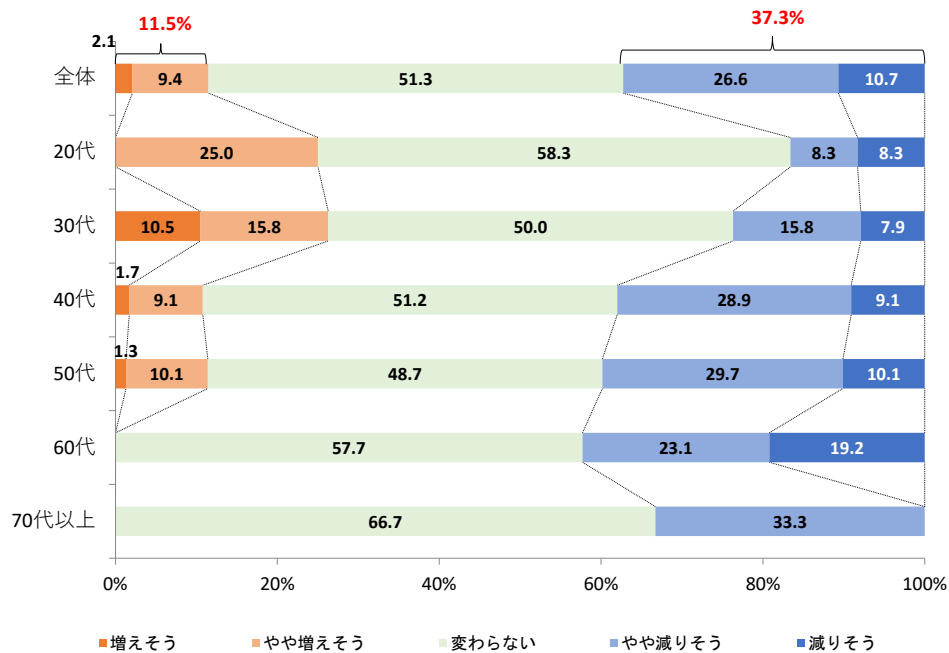
図表 1-1 2023 年夏のボーナスの増減予想



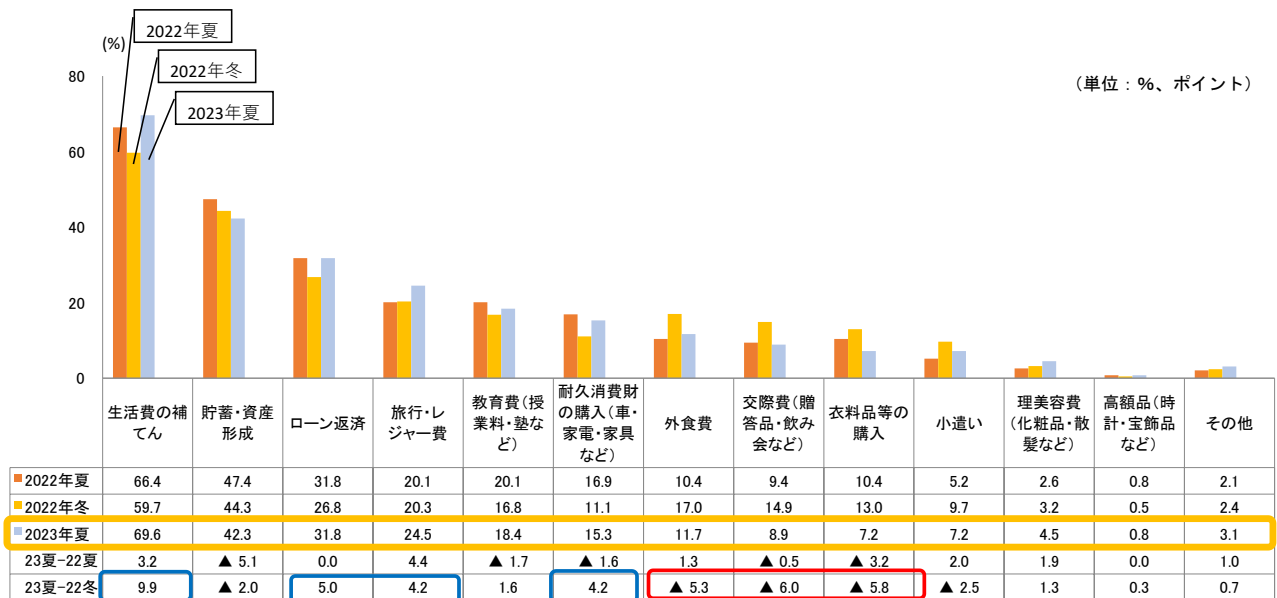
【参考】図表 1-2（前回調査） 2022 年冬のボーナスの増減予想



【参考】図表 1-3（前年調査）2022 年夏のボーナスの増減予想



図表 2-1 夏のボーナスの使い道（全体）



注) 複数回答、以下同じ

図表 2-2 夏のボーナスの使い道（男女別）

（単位：％）

項目	全体	男性	女性
生活費の補てん	69.6	71.2	68.4
貯蓄・資産形成	42.3	38.6	45.1
ローン返済	31.8	34.0	30.1
旅行・レジャー費	24.5	17.0	30.1
教育費（授業料・塾など）	18.4	18.3	18.4
耐久消費財の購入（車・家電・家具など）	15.3	10.5	18.9
外食費	11.7	8.5	14.1
交際費（贈答品・飲み会など）	8.9	7.2	10.2
衣料品等の購入	7.2	3.9	9.7
小遣い	7.2	5.9	8.3
理美容費（化粧品・散髪など）	4.5	1.3	6.8
高額品（時計・宝飾品など）	0.8	0.7	1.0
その他	3.1	1.3	4.4

注）複数回答

図表 2-3 夏のボーナスの使い道（年代別）

	1位	2位	3位
全体			ローン返済
10代			ローン返済、耐久消費財の購入
20代			旅行・レジャー費
30代	生活費の補てん	貯蓄・資産形成	ローン返済
40代			ローン返済
50代			ローン返済
60代			ローン返済、旅行・レジャー費
70代以上			

注）10代は4項目が同数、70代以上は1位の「生活費の補てん」と2位の「貯蓄・資産形成」が同数